

サステナビリティレポート 2014 用語集

BCP	事業継続計画（Business Continuity Plan）のこと。自然災害などの不測の事態において、事業の継続を図るための方針や計画。想定外の事態を想定内にするための取り組みではなく、想定外の事態に対応するための仕組みづくりが重要
CDP	カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)。機関投資家が連携し、企業に対して気候変動への戦略や具体的な温室効果ガスの排出量に関する公表を求める
CSR	企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）。企業が世の中を構成する一員として果たすべき責任
EICC/GeSIテンプレート	EICC [®] （Electronics Industry Citizenship Coalition [®] 、電子業界CSRアライアンス）およびGeSI（Global e-Sustainability Initiative）の取り組みにより、紛争鉱物関連の調達情報を収集するため、世界共通のものとして提供されている
ISO26000	国際的なSR（組織の社会的責任）の取り組みのガイドラインとして2011年10月に国際標準化機構より発行された。政府や産業界、労働者、消費者、NGOなどの代表者が2000年代前半より議論を行ないながら策定作業を行なった。従来のISOのように認証を必要とする規格ではないことも特徴のひとつ
SCOPE3	企業のバリューチェーンにおける排出量の算定や報告の方法を示す「GHG プロトコルSCOPE3算定報告基準（Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard）」のこと。GHGプロトコルは、米国の環境シンクタンクWRI（世界資源研究所）と、持続可能な発展を目指す企業連合体であるWBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）が共催するマルチステークホルダー方式のパートナーシップ
TPM	Total Productive Maintenanceの略で、「生産効率を極限まで高めるための全社的生産革新活動」である。TPM活動の基本は、現場の小集団での設備を対象とした改善活動
TQC	製品の品質を管理するためには、製造部門だけに任せては効果が限定されるため、営業・設計・技術・製造・資材・財務・人事など全部門、および経営者を始め管理職や担当者までの全員が、密接な連携のもとに品質管理を効果的に実施していく活動
UGN	Ushio Green Networkのこと。ウシオグループ各拠点におけるCSRと環境への取り組みや情報共有を目的とした組織
ウシオエンジェル	2005年、同僚をガンで亡くしたことをきっかけに、ウシオアメリカ・オレゴン工場の社員に芽生えたチャリティー精神とその活動を知る人々が彼らにつけたニックネーム。現在、「リレーフォーライフ」にウシオアメリカの社員が参加する際のチーム名になっている

サステナビリティレポート 2014 用語集

くるみん	「くるみん認定マーク」などと呼ばれ、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、一定の基準を満たした企業が厚生労働大臣から認定を受け、そのマークを使用することができる
紛争鉱物	米国証券取引委員会（SEC）にて定められた金融規制改革法（ドット・フランク法）にて米国上場企業に使用の報告義務が制定された4物質（金、錫、タンタル、タングステン）を示す。採掘元によってはコンゴ国内の武装勢力の資金源になる懸念があり、現地人権問題の解決に向けて精錬所の特定など管理が求められている
国際労働機関	1919年にベルサイユ条約によって誕生。全世界において、労働条件を改善し社会正義を実現することを目的としている国際組織
国連グローバル・コンパクト	1999年、当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が企業に対して提唱したイニシアチブ。人権・労働基準・環境・腐敗防止に関する10原則の取り組みを遵守し実践するよう呼びかけている
コーポレート・ガバナンス	企業統治の意味で、企業の経営を監視する仕組みのこと。監視するといっても「経営者がなにか不都合なことを行っていないか」を監視するのではなく、経営者に目標を与え業績評価するなど、「経営者が株主のために企業経営を行っているか監視する仕組み」である
コンプライアンス	直訳すると「法令遵守」となる。かつては法令を守ることという意味に取られていたが、最近ではこれに加え「社会のルールや良識を守り社会に貢献すること」もコンプライアンスの範囲として捉えられている
循環型社会	限りある資源を大切に活用し、再利用を推進するなど持続可能な形で循環を進める社会
ステークホルダー	さまざまな組織が意思決定を行ない活動するにあたって、そこに関係してくる人たち。一般的には「企業の利害関係者」として説明される
ステークホルダーエンゲージメント	企業活動の中でステークホルダーの意見を理解し、議論を進める取り組み
スーパーグリーン製品	スーパーグリーン製品認定の基準は、次の3つの要件で構成されています。 ①環境配慮型製品基準で80点以上（環境配慮型製品アセスメント基準に基づく） ②環境ファクター1.5以上（2001年3月期を基準年とし、従来製品との比較で計算） ③透明性の確保
生物多様性社会	遺伝子・生物種・生態系の3つの多様性が守られ多様な生物が存在している社会
ゼロエミッション	生産や廃棄、消費に伴って発生する廃棄物をゼロにする事を目標とする活動
ソーシャルニーズ	世の中にあるさまざまなニーズの中でも、特に環境や貧困、人権、福祉、健康などといった公共分野や社会的課題にかかわるニーズ
ダイバーシティ	多様性の意味で、人種や性別、年齢、信仰にかかわらず多様な人材が最大限の能力を発揮できるような仕組みづくりが求められている

サステナビリティレポート 2014 用語集

低炭素型社会	地球温暖化を防止するため、CO ₂ の排出量を少なくできる社会のこと
内部統制	企業などの組織において、業務を適切に進めるためのルールを作り、ルール通りに業務を進めるプロセス。アメリカで発生した巨額粉飾・不正監査事件を契機に、企業のコンプライアンスが問題となり、世界的に重視されるようになった
バリューチェーン	アメリカの学者マイケル・ポーター氏が著書「競争優位の戦略」の中で用いた用語。購買物流、製造、出荷、販売・マーケティング、サービスとそれらを支援する人事・労務管理や技術開発など、それぞれのプロセスで作りに出した付加価値の連鎖が最終的な製品やサービスの価値を生み出すという考え方
紛争鉱物	米国証券取引委員会（SEC）にて定められた金融規制改革法（ドット・フランク法）にて米国上場企業に使用の報告義務が制定された4物質（金、錫、タンタル、タングステン）を示す。採掘元によってはコンゴ国内の武装勢力の資金源になる懸念があり、現地人権問題の解決に向けて精錬所の特定など管理が求められている
リレー・フォー・ライフ	アメリカのガン協会が毎年全国（市・町単位）で開催する行事で、地域の学校の校庭や公園の小道などをチームメンバーが交代で24時間歩き続けるイベント。24時間休みなしで体をむしばむガンへの挑戦、そしてそのガンと24時間休みなしで闘っている人への応援の意味が込められている
ワークライフバランス	「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。単に残業時間を減らすということではなく、仕事と私生活の双方の質を高めることで相乗効果が得られるような取り組みが求められている